

6. 第六中学校区青少年健全育成会への「魅力ある学校づくり構想」の説明会・質疑応答（概要）

○日 時：平成 28 年（2016 年）3 月 10 日（木）19 時～

○場 所：第六中学校 多目的室

質問・意見等	豊中市からの回答
<p>児童・生徒数が減少している中、学校が再編されることはやむを得ないが、小学校区ごとに活動している団体、例えば、公民分館、社会福祉協議会、防犯協議会等の今後の在り方が見えないことが不安である。いずれは新しい学校単位の活動ベースになると思うが、それまでの移行期間はどうなるのか。また、既存の小学校にはそれぞれ歴史や特色があるが、それをどのように一つにまとめていくのか。先日の説明会でも同じ質問をしたが、明確な回答が得られなかった。</p>	<p>地域コミュニティ活動の基盤が小学校区に存在していることは認識しており、今回の「魅力ある学校」づくり構想を検討する際にも、既存の小学校区を残すことを前提としてきました。本日、今後の地域コミュニティ団体の在り方について、明確な回答はできませんが、地域の皆さんのご意見、ご意向を伺いながら、検討を進めていきたいと考えています。</p>
<p>跡地利用との兼ね合いもあるのではないかと。</p>	<p>学校跡地については、地域の方々のご意見を踏まえた上で、豊中市市有施設有効活用計画に基づきながら、福祉、子育て、防犯、就労支援等のさまざまな観点から検討を進めていきたいと考えています。</p>
<p>先日、庄内南小学校でも本日と同様の説明をしていただいたが、その後、教職員からさまざま不安の声が出たので、質問ではないが、意見として以下をお伝えする。</p> <p>○通学距離が伸びることに対する不安がある。特に、小学校低学年の子どもたちが本当に安全に通えるのか、保護者も大変心配されている。また、現状として、庄内地域には生活課題を抱える家庭が多いため、登校の際に児童を迎えに行くなど、きめ細やかな指導を行っている。今回の学校再編により、通学距離が伸びたり、児童生徒数が増えたりして、一人ひとりにきめ細やかな指導することが難しくなるのではないかと。スクールバスの話もあるが、現実的ではないように感じる。</p> <p>○小中一貫校では、運動場を小・中学校で共有することになるが、本当に充実した教育活動ができるほどのスペースを確保できるのか。例えば、庄内地域の小学生は休み時間をとても大切にしているが、運動場が混み合ったり、中学生がいることで自由に遊べなくなったりするのではないかと。中学校のクラブ活動との兼ね合いもある。</p> <p>○小学校と中学校のルールの違いをどのように融合させていくのか。制服はどうなるのか。細かい話になるが、実際に学校が一緒になった時にどうなるか不安である。</p> <p>○庄内地域の子どもたちは縦の関係を大切にしているので、9</p>	<p>いただいたご意見については、今後の検討の参考とさせていただきます。通学距離が伸びることや、小中一貫校において、本当に充実した教育活動が行えるのか等、今までも多くのご不安なお声をお聞きしています。「魅力ある学校」の大筋の方向性については、今回お示した2案と考えていますが、詳細な教育内容については、現在、研究している最中であり、今後、ご意見をいただきながら、具体的に検討を進めていきたいと考えています。小学校から中学校に進学した際に問題行動や不登校が急増する、いわゆる「中一ギャップ」が今、問題となっています。小中一貫教育によって、小学校と中学校の教員が連携し、子どもたちの9年間を一緒に見守ることで、庄内地域が抱えている課題の解消につながるのではないかと考えています。現在においても、小・中学校の連携の取り組みを行っていますが、小学校と中学校では、授業の進め方、生徒指導の方法、教員の考え方等が異なるため、障壁が大きいのが実情です。小中一貫校をつくることになれば、豊中市初の試みであり、大改革となりますが、庄内地域の教育環境をより良くする方法として有効だと考えています。ただし、ご指摘いただいたとおり、課題やこれから検討していかなければならないことも多くあります。今後、ご意見をいただ</p>

年間一緒にの校舎で過ごすことで、上級生の悪い面を真似してしまうのではないかと。中学生が小学生を連れまわすなどの悪い関係が生まれてしまうのではないかと。また、小学 5.6 年生において、小学校のリーダーとしての自覚が育ちにくくなるのではないかと。

- 小中一貫校をつくるのではなく、小学校は小学校、中学校は中学校をそれぞれ統合させていくという考え方もあるのではないかと。庄内地域で小中一貫校をつくるメリットが見えてこない。
- 保護者の不安として、新校舎の工事期間中に、受験の時期と重なる等、不利益を被るのではないかとという声が出ている。

く中で、具体的な教育内容の中身等についても検討を進めていきたいと考えています。